

授業科目名・形態	介護の基本Ⅴ	講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	工藤 智美		実務経験の有無	有	開講期	2年前期

【授業の主題】

介護福祉の支援の対象となる人々の多様で複雑なニーズに対応していくために不可欠な、地域の保健・医療・福祉の多職種との連携・協働の意義、及び介護福祉職に求められる能力について理解を深める。また、多職種の役割や機能について理解し、多職種協働の事例を通して介護福祉職自らの専門性とチームケアの重要性を考える機会とする。

【到達目標】

- 1) 福祉職のみならず、関連領域である保健医療分野や行政機関等とのチームアプローチについて、その意義と実践方法を学ぶ。
- 2) 多職種協働による介護を実践するために他の職種の専門性や役割と機能を理解する。
- 3) 介護従事者自身が心身共に健康に介護を実践するための健康管理や、労働環境の管理について理解する。

【授業計画・内容】

- 第 1 回「多職種連携・協働」①・・・介護実践における連携の意義と目的
- 第 2 回「多職種連携・協働」②・・・多職種連携・協働における社会的背景
- 第 3 回「多職種連携・協働」③・・・求められる基本的な能力（1）
- 第 4 回「多職種連携・協働」④・・・求められる基本的な能力（2）
- 第 5 回「多職種連携・協働」⑤・・・保健・医療・福祉職の役割と機能（1）
- 第 6 回「多職種連携・協働」⑥・・・保健・医療・福祉職の役割と機能（2）
- 第 7 回「多職種連携・協働」⑦・・・多職種連携・協働の実際（1）
- 第 8 回「多職種連携・協働」⑧・・・多職種連携・協働の実際（2）
- 第 9 回「多職種連携・協働」⑨・・・多職種連携・協働の実際（3）
- 第 10 回「多職種連携・協働」⑩・・・多職種連携・協働の実際（4）
- 第 11 回「介護従事者の安全」①・・・健康管理の意義と目的
- 第 12 回「介護従事者の安全」②・・・介護の従事する人の健康管理
- 第 13 回「介護従事者の安全」③・・・ストレスとこころの健康
- 第 14 回「介護従事者の安全」④・・・身体健康管理
- 第 15 回「介護従事者の安全」⑤・・・労働環境の整備

【授業実施方法】

講義、及びグループワーク形式で行う。

【授業準備】

予習においては教科書の該当頁、関連書籍の該当頁を読み、理解できない箇所を明確にする。

【主な関連する科目】

「高齢者と健康」「コミュニケーション技術Ⅰ・Ⅱ」「人間の理解Ⅰ・Ⅱ」「介護の基本Ⅰ」

【教科書等】

「最新・介護福祉士養成講座4介護の基本Ⅱ」第2版 中央法規出版

【参考文献】

公益社団法人日本介護福祉士会編「介護福祉士がすすめる多職種連携」中央法規 2018年

【成績評価方法】

定期試験 70%、課題提出 20%、授業態度等 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

地域包括支援センター等の在宅領域、及び特養の管理職として、施設内外の多職種との協働により多くの困難事例に対応してきました。本授業ではこれらの経験を活かし、具体的な事例を提示しながら多職種協働の意義を伝えていきたい。

【学生へのメッセージ】

介護福祉の対象となる人々は、専門職が単独では解決できない様々な課題を抱えていることが多々あります。多職種の専門性や役割について学びながら、チームケアの実践における介護福祉士の専門性や役割を考えていきましょう。